

がんに伴う運動機能低下対策

県、「ロコモ部門」新設

中央・徳大病院のセンターに

がんやその治療に伴い運動機能が低下する状態「がんロコモ」への対策を広げ

ようと、県は8日、県立中央、徳島大両病院の総合メデイカルゾーン内のがん対策センターに「がんロコモ部門」を新設する。

がんロコモ部門では、両病院の看護師や医療ソーシャルワーカーが業務に当たる。一般向けの講演会や、医療従事者の研修会でがん

ロコモについて啓発するほか、県民からの電話相談などを受ける。

両病院には、がんロコモの原因となる、骨や筋肉にできる骨軟部腫瘍の専門医が2人おり、民間病院からの患者受け入れなどの連携体制も構築する。

県によると、近年、がんの骨転移や抗がん剤治療などによる運動機能の低下を抑えながら、がん治療を進

め、治療と自立した生活を両立することが重要視されている。
(島袋健太郎)